

## 国立極地研究所プロジェクト研究一覧

番号	研究課題名	研究目的	代表者・連絡先
KP-4	東南極海洋の環境変動の研究	<p>本課題では、南大洋インド洋区において、海洋環境に関する基本データを用い海洋物理・化学・生物過程の変動を抽出するとともに、その変動に影響を与えると考えられる海洋物理・化学・生物の主要プロセスを検討することを目的としている。極地研究所で所有している既存データの解析を進めるとともに、必要に応じ現場観測に参加し基本データの蓄積並びに変動プロセス解明に関わる研究を行う。</p>	<p>小達恒夫 教授</p> <p>042-512-0738</p> <p>odate@nipr.ac.jp</p>
KP-15	北極における大気・海洋・雪氷相互作用	<p>国立極地研究所では、ノルウェーのスパールバル諸島スピッツベルゲン島ニーオルスンに観測基地を維持している。ニーオルスンでは多くの国が協力しながら北極大気・雪氷の観測を行なっている。</p> <p>北極の気候システムでは、温暖化の進行により様々な気候要素の変化がおきており、その変動システムの理解が求められている。</p> <p>本研究では、北極の気候システムに関わる雲・放射過程、海水変動や大気循環場、積雪分析など大気・雪氷の観測や解析を通して北極気候システムを探る。特に、スパールバルでの気象・雪氷観測やそこで得られたデータの解析、広域の気象データや衛星観測情報の解析により研究を進める。</p>	<p>榎本浩之 教授</p> <p>042-512-0644</p> <p>enomoto.hiroyuki@nipr.ac.jp</p>